

憲法がいかさされていない？

いま、日本はこうなっている

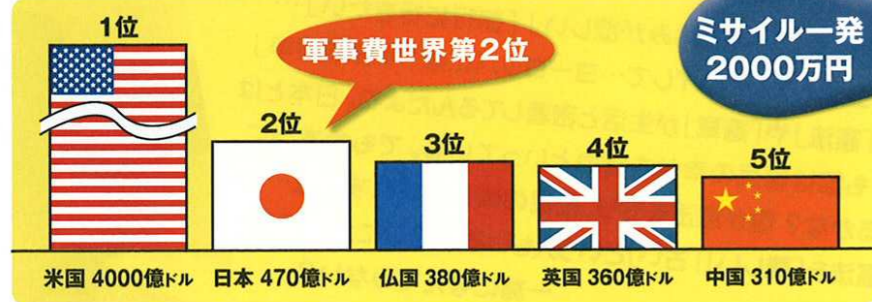


戦闘機の値段

空中給油機
900億円

ヘリ空母
950億円

ミサイル一発
2000万円



国民の「生きる権利」の危機です！医療費のあいにく負担増で、受診控えや中断が広がっています。不況やリストラの影響も受け、国民保険では461万世帯が滞納、国民年金の未加入者も6割と増え続けています。介護も保険料は取られているのに、利用料が高く泣き寝入り。安心して医療や介護を受けられない国民が増えています。



憲法のなかみ

憲法9条

戦争を放棄し武力行使せず、
どんな戦力も持たない

日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動したる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。前項の目的を達するため、陸・海・空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

憲法25条

人間らしく健康に生きる権利

すべて 国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び、増進に努めなくてはならない。

憲法27条

人間らしく働く権利

すべて 国民は、勤労の権利を有し、義務を負ふ。賃金、就業時間、休息その他の勤労条件に関する基準は、法律でこれを定める。児童は、これを酷使してはならない。

財界・政府が変えようとしている憲法のなかみ

自衛隊は、アメリカのする戦争に軍隊として正々堂々と参加できる。戦争には国民みんなで協力するようになる。戦争に協力しない国民には罰則もあり。「武力には武力で」となり、話し合いでの解決は出来なくなる。

個人の負担はますます上がり、医療が受けられなくなる。医療や福祉を商品化され、貧富の差がいのち重さの差になる。定率減税が廃止され、消費税は上がり、税金の負担が増える。

はたらくルールを壊し、労働者の権利が守られなくなる。さらなる賃金や労働条件の引き下げ。労働者を競争させ、利益を企業が独り占めする。

戦争になると医療は…

戦場では一医療労働者が戦争加害者にも一

かつての戦争で、軍医、従軍看護婦として戦場に送られました。重症者や痛みでうめく兵士を置き去りにしたり、注射で「処分」して進みました。

太平洋戦争の時、日本軍(731部隊)は中国で、敵兵や現地人に生体実験や生体解剖を行いました。こんなことが許されるのでしょうか？戦争は、人間を狂わせます。戦争において、医療がいちばん悲惨な役割を負わされます。

ふたたび白衣を
戦場の血で汚さない

国内では一医療は壊滅状態一

国内では極端な医師・看護師不足になりました。医師は6万7千人(1941年)から1万1千人(44年)に、看護師は15万人から3万人に激減。

入院患者の多くが追い出され、ベッドは軍隊に占拠されました。医薬品や衛生材料も極端に不足し、食糧不足も重なり、国内は結核や伝染病が蔓延しました。国民の「医療を受ける権利」は、戦争の中では簡単に壊されてしまいます。国民の医療は平和でないと守れません！



医療労働者は刑罰つきで徴兵

自衛隊法103条では、有事の際、自衛隊が病院などを管理し、医療従事者に業務従事命令を出すことができることとされています。

昔の戦争は、「国家総動員法」で国民を戦争にかり出し、違反した者には懲役などの罰則が設けられました。

「公用令書」が「現代版赤紙」となり、罰則についても水面下で検討が進んでいます。



憲法がいかされると…



リストラ・不況、殺人・自殺・事件が相次ぐ日本の社会、あなたはどう思いますか？国民の生活を保障し、良くしていくために必要なのは、憲法を変えることなく今の憲法をきちんと実行させていくことです。

Q 憲法はアメリカの押し付け？時代遅れじゃない？

A 「押しつけられた」ものでなく、GHQ(連合軍司令部)の草案を日本の議会で審議承認されたものです。「時代遅れになった」というのは改憲派の人たちがやりたい「現実」に合わせるためのもので、民主主義と平和を大原則とした憲法は、時代が変わったからといって変える必要はありません。世界でも先駆的な憲法です。

武力で平和はつukれない
～日本の平和から世界の平和に～

「攻めない・攻められない」国であること、あくまでも国連の場での平和解決を求める姿勢を貫くことによってアメリカだけでなく各国と対等な立場で話し合っ良い関係を築いていきます。自衛隊を派遣するだけが「国際貢献」ではなく、医療や食料など相手の国が本当に必要としていることに手をさしのべるこそ求められています。

ひとりひとりが大切にされる
世の中になる



いまの国の予算を社会保障にまわすとお金の心配をしなくても医療や福祉を受けることができます。「いつでも、どこでも、だれでも安心して医療や介護をうけられる」ことが社会保障の基本であり国の責任です。

Q 自衛隊がなければ、よその国が攻めてきたとき困るのでは？

A 日本の防衛関係費は世界第2位です。北朝鮮の脅威も言われていますが、外交政策には、国際的にも批判が集中しており勝手な行動は出来なくなっています。これだけ経済が相互依存化している国際情勢の下、戦争だけでも世界恐慌が起きかねない危険もあります。

Q 憲法が変わっても、私には関係ないよね？

A 憲法は「生きる権利」や「働く権利」を保障するものです。憲法を変え戦争する国になると、税金がまず軍事費に投入され、教育や医療・社会保障は後回しになります。憲法を守ることは、人間が大切にされることであり、これから私たちひとりひとりがどう生きていくのかにかかわる問題です。

ゆとりをもって生活できる
社会になる

今のリストラとは反対に人を増やすことができます。仕事にふさわしい賃金が保障されます。ミスや医療事故防止だけでなく自分の仕事に誇りをもって健康で働き続けられます。残業もなく自分の時間が増え、リフレッシュすれば仕事の効率は上がります。雇用も拡大され失業者も減り、社会全体の活性化につながります。

